



株主・投資家の皆様へ

Keisei Business Report

第177期中間報告 2019.4.1 ▶ 2019.9.30



京成電鉄株式会社

証券コード:9009

CONTENTS

P3-4
成田空港へのアクセスを
もっと便利に、もっと快適に

P8
京成電鉄から
110年目のありがとう

P2 トップメッセージ

P5-7 トピックス

P9-10 数字でみる KEISEI

P11-12 株主優待制度のご案内

P13 営業エリア案内

P14 株主様向け施設見学会のご報告 & プレゼントのご案内

※表紙の右下2枚の写真は、右から初代スカイライナー(AE形)と2代目スカイライナー(AE100形)です。
両車両は現在、宗吾車両基地に保存されております。

京成グループ理念

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

安全 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
接客 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
成長 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
企業倫理 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
環境 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 小林敏也



第177期上半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の業績及び当社グループにおける取り組みにつきましてご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、企業収益は高い水準で底堅く推移し、個人消費や雇用情勢が改善するなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。また、当社は2019年6月30日に創立110周年を迎え、お客様等への感謝の気持ちを込め各種記念事業を行いました。

その結果、営業収益は1,380億7百万円(前年同期比6.2%増)となり、営業利益は191億1千7百万円(前年同期比7.7%増)となりました。経常利益は284億3千1百万円(前年同期比5.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は211億7千6百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、10月31日開催の取締役会決議を経て、1株につき8円50銭とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループは、中期経営計画「E4プラン」(2019年度～2021年度)を着実に推進し、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。また、「E4プラン」は、2010年度より推進している長期経営計画「Evolution Plan(Eプラン)」(2010年度～2021年度)の最終段階であり、その先の「ポストEプラン」に向け、先を見据えた持続的な成長を目指し、新たな成長ビジョンを確立してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど、企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(バストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

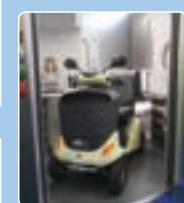
2019年12月

成田空港へのアクセスをもっと便利に、もっと快適に

訪日外国人の増加や滑走路の発着時間の延長等により、利用者数のさらなる増加が予想される成田空港。当社ではスカイライナーの増便や、快適な車内環境を提供する新形式車両の導入など、成田空港アクセスの利便性向上・輸送力増強への取り組みを、様々な角度から継続的に進めております。



スカイライナーを1編成増備し
運行本数は約1.4倍に!



増備車両のトイレは
ハンドル型
電動車いす対応

東京都心～成田空港間を結ぶスカイライナーを終日20分間隔*運行へ

成田空港の利用者数が増加傾向であることや、2019年10月27日の成田空港のA滑走路の発着時間の1時間延長に対応するため、当社では2019年10月26日にダイヤ改正を実施いたしました。

今回のダイヤ改正では、スカイライナーの運行本数を約1.4倍に増やし、終日20分間隔*で運行するほか、運行時間帯

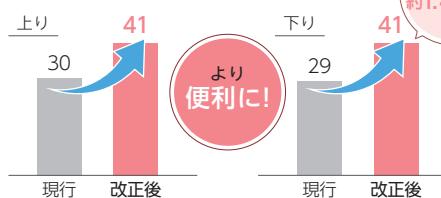
を拡大しております。

また、本ダイヤ改正に先立ち2019年9月19日より、スカイライナー車両を1編成増備いたしました。なお、増備されたスカイライナー車両は、ハンドル型電動車いすでトイレに入ることが可能となっております。

*一部異なる時間帯もございます。

運行本数 59本 ▶ 82本の約1.4倍に!

1日あたりのスカイライナー運行本数



運行時間帯

始発列車は下り5:58 ▶ 5:40発
最終列車は下り2時間繰り下げ、上り22:30 ▶ 23:20発に!

平日の場合	方向	現行	改正後	
			時刻	時刻
下り (京成上野駅発時刻)	現行	5:58	18:20	
	改正後	5:40	20:20	運行時間帯を拡大
上り (成田空港駅発時刻)	現行	7:26*	22:30	
	改正後	7:26*	23:20	早朝・深夜便に対応!

* 土休日は7:29発

成田スカイアクセスに新形式『3100形』が登場



『受け継ぐ伝統と新たな価値の創造』をコンセプトとした16年ぶりの新形式車両

3100形は、『受け継ぐ伝統と新たな価値の創造』というコンセプトに、質実さ、実用本位という当社車両の基本思想を大切にしつつ、空港アクセスを担う車両としてより便利で快適な移動空間をご提供するためのデザインや設備を取り入れました。

デザインは、成田スカイアクセス線を走行することをより分かりやすくするため、同線の案内カラーであるオレンジを初めて採用いたしました。これにより、別ルートである京成

本線との誤乗車防止を図ります。

車内設備では、座席の一部を折り畳み式とし、スーツケース置場としてもご利用いただけるよう工夫したほか、セキュリティ向上を目的とした防犯カメラを設置いたしました。さらに、快適な車内環境を提供するため空気清浄装置の導入やフリースペースを設置しております。いずれも、当社の通勤型車両としては初めての取り組みとなっております。安全・安心で快適な車両となっております。



成田空港発高速バスの最終出発時刻の延長

深夜の時間帯におけるアクセス向上を実現

2019年10月27日に高速バス「東京シャトル(成田空港～東京都心)」ならびに「幕張新都心・稲毛海岸駅線(成田空港～幕張新都心・稲毛海岸駅)」のダイヤ改正を実施いたしました。

限られた滞在時間を有効活用したい訪日旅行者の方等のニーズにお応えし、深夜時間帯のアクセス向上を図りました。

行先	現行の最終時刻	改正後の最終時刻
東京駅行き	23:10 発	0:15 発
幕張新都心・稲毛海岸駅行き	22:25 発	23:55 発

鉄道事業

創立110周年を記念した ミュージアムトレインの運行や 全駅記念入場券の発売を実施

おかげさまで京成電鉄は、2019年6月30日に創立110周年を迎え、京成電鉄の110周年の歴史を感じていただける記念事業としてミュージアムトレインの運行や全駅記念入場券の発売を行いました。

ミュージアムトレインでは、京成電鉄の歴史を振り返ることができるポスターで車内を埋め尽くし、ミュージアムのような空間を演出しております。また、全駅記念入場券は、京成電気軌道(株)時代の乗車券等をモチーフにしたもので、完売となっております。



ミュージアムトレイン内の中吊りポスター

鉄道事業

関西国際空港内に スカイライナー 割引チケット発行機を設置

スカイライナー券等の販路拡大に向けて、関西国際空港第1ターミナルビル内に割引チケット発行機を新たに設置いたしました。既に一部の企画乗車券は、LCC航空機内にて販売しておりますが、さらに多くのお客様にご利用いただけるよう2018年4月の新千歳空港に続き、関西国際空港にも設置いたしました。

本発行機では、スカイライナーをお得にご利用いただける企画乗車券「スカイライナーバリューチケット」と「Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket」の引換券を発売しております。



京成スカイライナー割引チケット発行機

鉄道事業

スカイライナー券 発売カウンターにおいて、 訪日外国人向けのモバイル 決済サービスを導入

サービス向上のため、既に訪日外国人向けインターネットチケット購入サービス「Skyliner e-ticket」の決済手段に導入しているモバイル決済サービスを、成田空港をはじめとしたスカイライナー券発売カウンターにおいてもご利用を可能といたしました。



スカイライナー券発売カウンター(京成上野駅)

バス事業

東京都心と臨海部を結ぶ「東京BRT」 の本格運行へ向けて新会社設立

2019年7月に東京都心と臨海地域とを結ぶ新しい交通システム「東京BRT」の運行を担う東京BRT(株)を設立いたしました。「東京BRT」は、臨海地域における豊洲市場の開場や環状2号線の整備、住宅開発などによる交通需要の増加に速やかに対応するための新たな交通システムであり、京成バス(株)が運行事業者として東京都から選定されました。2020年度には京成バス(株)がBRTプレ運行を開始いたします。東京BRT(株)は2020年夏以後予定されるプレ運行二次より運行を開始し、2022年度以降の本格運行時には全ての運行を担う予定です。

本格運行時の概要図(2022年度以降)
※停留施設名は仮称です。また、ルートは概略を示したものです。



バス事業

東京シャトルご利用の お客様 800万人達成

東京都心と成田空港を結ぶ「東京シャトル」のご利用者数が2019年7月に800万人を達成し、記念キャンペーンを実施いたしました。

キャンペーンでは、東京駅のバス乗り場や京成高速バスラウンジにてオリジナルクリアファイルを配布し、ホームページでのWEBアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、QUOカードをプレゼントいたしました。



タクシー事業

帝都三信交通(株)及び帝都三信 大森交通(株)が営業開始

事業規模拡大のため、大田区のタクシー会社2社より事業を譲受し、帝都三信交通(株)及び帝都三信大森交通(株)が2019年9月に営業を開始いたしました。





レジャー・サービス業

「京成ビートル」など 多様な旅行企画を実施

京成トラベルサービス(株)では、創業60周年を記念した特別ツアーや「京成ビートル」などの多様な旅行商品を企画、催行いたしました。さらに60周年記念のプレゼントキャンペーンを実施し集客に努め、営業力の強化を図りました。



「京成ビートル」にて
使用した3500形



京成トラベルサービス(株)
60周年記念ロゴマーク

千葉県内にある サブウェイ2店舗の営業権を取得

(株)イウォレ京成では、「サブウェイ ニッケコルトンプラザ店」と「サブウェイ ららぽーとTOKYO BAY店」の営業権を取得いたしました。これは、2018年10月から同社が、サブウェイインターナショナルB.V.とフランチャイズ契約を締結して事業を展開しているもので、上記の店舗も含め計3店舗出店しております。



サブウェイ ららぽーとTOKYO BAY店



建設業

千葉県下で事業を 展開している建設会社が 京成グループに 加わりました

千葉県下で事業を展開している建設会社の全株式を取得し、2019年7月に京成建設(株)と合併させ、専門性の高い人材の確保や営業先の拡大に努めました。



不動産業

「京成日本橋小網町ビル」 が竣工 ビジネスホテルの 運営会社に賃貸開始

賃貸業における収益拡大のため、宿泊施設需要が見込める用地を取得し、当社にてビジネスホテルを建設いたしました。

なお、本ビルは、竣工後、ビジネスホテルの運営・管理を行う会社に賃貸しております。



京成日本橋小網町ビル

京成電鉄から

110年目のありがとう

京成電鉄株式会社は、1909年(明治42年)6月30日に「京成電気軌道株式会社」として発足して以来、おかげさまをもちまして今年創立110周年を迎えました。これもひとえに株主様、沿線のお客様をはじめ、今まで支えてくださった皆様からの長年にわたるご支援、ご愛顧の賜物であり、心から感謝申し上げます。

FLASH BACK

創業期

1907年(明治40年)
「京成電気軌道」敷設特許状の取得



拡充期

1914年(大正3年)
江戸川を越えて千葉県へ路線開通



復興期

1952年(昭和27年)
特急「開運号」の登場



発展期

1960年(昭和35年)
都営浅草線との直通運転を開始



展開期

1978年(昭和53年)
成田空港線を開業



推進期

1991年(平成3年)
成田空港ターミナル乗り入れ



躍動期

2010年(平成22年)
3代目スカイライナーデビュー



これからも京成電鉄は、
「**いろんな笑顔結びたい**」をスローガンに、
皆様のお役に立ちますよう努めてまいります。
今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



創立110周年特別サイトを開設中

<https://www.keisei.co.jp/keisei/110th/>



▲京成電鉄
「創立110周年記念
ロゴマーク」

数字でみるKEISEI

連結決算の概要

(単位:百万円)

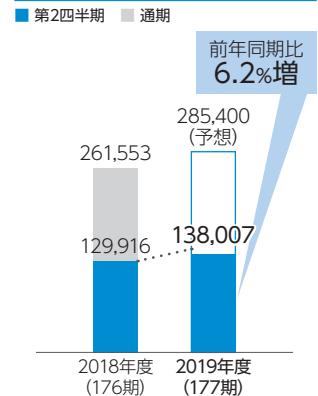
	2017年度(第175期)		2018年度(第176期)		2019年度(第177期)	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
営業収益	125,759	255,028	129,916	261,553	138,007	285,400
営業利益	17,955	30,085	17,746	31,608	19,117	32,300
経常利益	26,925	47,145	26,890	50,720	28,431	48,900
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	19,752	34,811	20,520	38,642	21,176	37,700
総資産	801,228	794,712	820,893	853,025	868,934	—
純資産	352,271	366,423	387,525	402,901	423,541	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,480	47,952	21,846	45,851	30,935	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,323	△ 27,023	△ 33,387	△ 53,430	△ 20,140	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,572	△ 19,878	12,661	7,246	△ 7,208	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	24,951	24,417	26,471	25,018	29,719	—

2019年度 第2四半期決算のポイント

運輸業における訪日外国人旅客の増加や不動産業における中高層住宅の引き渡し戸数増加等により、営業収益及び各利益項目は、いずれも過去最高を更新いたしました。

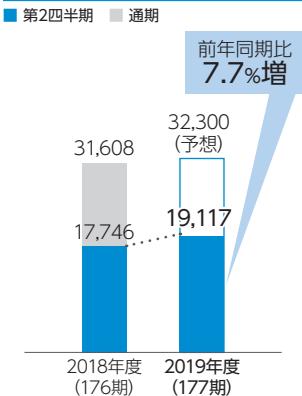
営業収益

(単位:百万円)



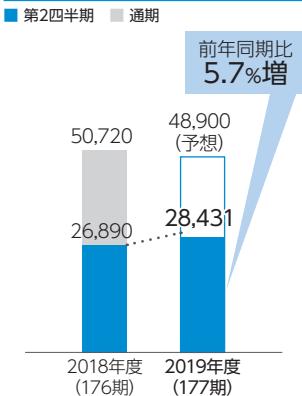
営業利益

(単位:百万円)



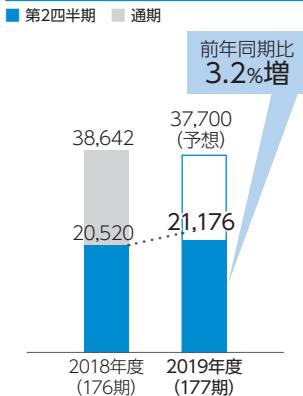
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

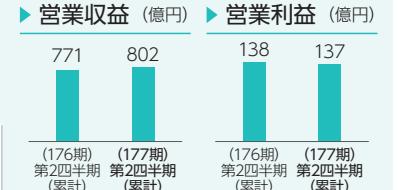


(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2018年度の期首から適用しており、2017年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

セグメント別業績

運輸業

京成電鉄(株)、北総鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、帝都自動車交通(株)、京成タクシー船橋(株) ほか



流通業

(株)京成ストア、(株)水戸京成百貨店、(株)コミュニティー京成、(株)ユアエルム京成、京成バラ園芸(株)



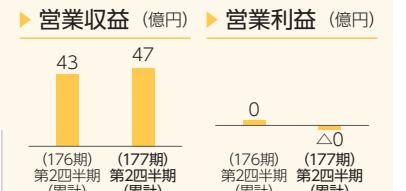
不動産業

京成電鉄(株)、京成ビルサービス(株)、京成不動産(株) ほか



レジャー・サービス業

(株)京成エージェンシー、(株)イウォレ京成、(株)千葉京成ホテル、京成トラベルサービス(株) ほか



建設業

京成建設(株)、京成電設工業(株)



持分法適用関連会社の業績は上記のセグメント別業績には含まれておりません。
持分法適用関連会社:(株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)*、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)、東京空港交通(株)
*関東鉄道(株)は、2019年10月8日付で京成電鉄(株)の連結子会社となりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

年2回 送付	基準日 9月末	11月送付	基準日 3月末	5月送付
-----------	------------	-------	------------	------

▶ 株主優待乗車証発行基準

保有株式数	株主優待乗車証の方式	発行枚数		継続保有追加発行枚数
		9月末 (基準日)	3月末 (基準日)	
100株以上 500株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車有効	—	2枚	2,500株以上の各保有株式数を 3年以上継続して保有の場合 (6か月につき)
500株以上 1,500株未満	//	4枚	4枚	
1,500株以上 2,500株未満	//	7枚	7枚	
2,500株以上 3,500株未満	//	10枚	10枚	
3,500株以上 5,000株未満	//	20枚	20枚	回数券式(電車) 1枚1乗車有効 プラス 3枚
5,000株以上 10,000株未満	//	30枚	30枚	// プラス 3枚
10,000株以上 17,500株未満	//	60枚	60枚	// プラス 6枚
17,500株以上 25,000株未満	定期券式(電車)	1枚	1枚	// プラス 14枚
	回数券式(電車) 1枚1乗車有効	60枚	60枚	
25,000株以上	定期券式(電車・バス)	1枚	1枚	// プラス 14枚
	回数券式(電車) 1枚1乗車有効	60枚	60枚	

2019年11月現在

- (注) 1. 上記の株主優待乗車証は、当社線*でご利用いただけます。また、保有株式25,000株以上の株主様に発行する株主優待乗車証(電車・バス)は、当社線*及び京成バス(株)の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く。)でご利用いただけます。
*北総線各駅(新柴又駅~印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
3. 継続保有追加発行は、過去3年間(2019年11月送付分の場合、2016年9月30日以降)すべての基準日(9月30日・3月31日)において、2,500株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の基準日に保有していた最少株式数に応じて発行いたします(相続により名義の方が変更となった場合は対象となりません。)
4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失又は障害により再発行する場合を除く。)
5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。
6. 17,500株以上保有している株主様に発行しております「定期券式」の株主優待乗車証につきまして、選択制で「回数券式」の株主優待乗車証60枚を発行いたします。
7. 株主優待乗車証の発行は500株未満保有の株主様には3月末基準日の年1回、500株以上保有の株主様には9月末基準日と3月末基準日の年2回となります。

お出かけの際は株主優待をご利用ください。

▶ グループ会社優待券 (500株以上保有の株主様に発行)

京成ローザ⑩

映画館一般鑑賞料金
800円割引
ソフトドリンクSサイズ
引換券
優待券枚数 5枚



リブレ京成

お買物代金
2,000円(税込)ごとに
100円割引
優待券枚数 20枚



水戸京成ホテル・京成ホテルミラマーレ

宿泊料金の20%割引
レストラン飲食料金の
10%割引
優待券枚数 8枚



京成ホテルミラマーレ
レストランメニューの一例

スーパー銭湯「笑がおの湯」

入館料金最大
400円割引
優待券枚数 10枚



筑波山京成ホテル	宿泊料金の20%割引 日帰り入浴料金の10%割引 ランチ飲食料金の20%割引	優待券 枚数	8枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	乗車料金の20%割引 お土産品の10%割引 ※直営店舗300円(税込)以上	優待券 枚数	4枚
鉾山ロープウェイ	乗車料金割引	優待券 枚数	4枚
京成トラベル	パック旅行3%割引	優待券 枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券 枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券 枚数	4枚
千葉中央バス	「ふれあいツアー」旅行代金の500円割引	優待券 枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券 枚数	5枚
「PRONTO」(京成金町駅・京成幕張本郷駅)	1会計2,000円(税込)以上のご飲食料金より200円割引	優待券 枚数	5枚
佐倉カントリー倶楽部	平日ゲスト通常料金より1,000円(税込)割引	優待券 枚数	3枚
京成百貨店	専用のWebサイト又はお電話での商品優待販売		
ユアエルム八千代台	駐車場利用料金2時間無料サービス	優待券 枚数	4枚

(有効期限は、優待券に記載のとおりです。また、記載されている金額は2019年11月現在のものです。料金・消費税率の改定等により、今後変更となる場合がございます。)

会社情報

◎会社の概要 (2019年9月30日現在)

創 立 1909年6月30日
本 社 千葉県市川市八幡三丁目3番1号 〒272-8510
047-712-7000(総務部総務・法務課)
資 本 金 36,803,841,088円
主な事業内容 鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口 鉄道152.3km
車 両 数 鉄道客車622両
駅 数 69駅
従 業 員 数 1,728名

◎株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

0120-232-711

受付時間
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

[郵送先]
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 取 引 所 東京証券取引所(第1部)

公 告 の 方 法 電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に公告いたします。

◎取締役及び監査役 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	三枝 紀生	取 締 役	栃木庄太郎
代表取締役社長	小林 敏也	取 締 役	伊藤 幸宏
常務取締役	室谷 正裕	取 締 役	加藤 雅哉
常務取締役	天野 貴夫	常 勤 監 査 役	河上 守
常務取締役	河角 誠	常 勤 監 査 役	佐藤 賢治
常務取締役	登嶋 進	監 査 役	上西京一郎
取 締 役	田中 亜夫	監 査 役	松山 保臣
取 締 役	金子 庄吉	監 査 役	小林 健
取 締 役	古川 康信		

◎株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式の総数 172,411,185株
株 主 数 16,186名

◎ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◎配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。



環境に配慮した
FSC®認証紙と
植物油インキを
使用しています。